

北九州市民の会ニュース

「さよなら原発」と「平和ネット」 小倉駅前で連続街宣

今日(11月19日)の夕方は、まず「さよなら原発北九州」のグループが街宣をやって、その後は我々「平和をあきらめない北九州ネット」が同じ街宣をやるという、非常に濃厚な小倉駅前でした。

しかもっ！(加藤風 笑) 89年ぶりという「ほぼ皆既」の部分月食という超豪華版！僕らのリレートークでは、やっぱり「市民と野党共闘」に確信を深めた、あるいは自信を持とう！という話が中心ですね。

それに改憲の動きが急だけど、それを押し返そうという気迫の訴えもありました。



総選挙の結果に対しての「がっかり感」は、もう完全に通過し、みんなの気持ちは次なるステージに向かっていきます。で、スピーチの最後のメは僕だったんですけど、まわりのビルに囲まれて見えなかった「月食」が、ステーションビルの斜め上に見えてきたんです。

誰かが「あ、見えた」と言ったと同時に、その周辺のみなさんは月の方に向けてしまって、そのうちだんだん人が集まってしまって、僕は演説どころじゃ



なくなってしまったという・・・(笑)

ま、いいじゃないですか。89年ぶりだし、次回は65年後らしいので。その65年後の日本も含めた世界では「戦争」という言葉がきつと「死語」となっていることでしょう。そんなことを願っています。

(竹内俊一さんFBより)

平和をあきらめない北九州ネット 第7回総会



日時 12月19日 14時から
場所 北九州市立男女共同参画センター 4階大セミナールーム

内容

- 第一部
第7回定期総会
経過報告・会計報告・今後の方針など
- 第二部
総がかり行動共同代表
高田健さんによる講演

講演：総選挙の結果と改憲の動向
高田 健 共同代表

問い合わせ先：平和をあきらめない北九州ネット 池上：090 6207 9303 竹内：090 9572 7417

「自衛官等募集に関する対象者情報提供」を中止せよ！

北九州市は自衛官募集に係る対象者情報の提供方法について、防衛省及び総務省の通知により、来年度から紙媒体(あて名シール)での提供に変更すると、11月10日に公表しました。

これを受けて、本日(11月29日)、「平和とくらしを守る北九州市民の会」に結集する諸団体が、情報提供を中止するよう、市当局に申し入れを行いました。申し入れに参加した団体は、小倉地区平和委員会、新日本婦人の会北九州7支部、北九州子どもと教育のために手をつなぐ会、生活と健康を守る会(門司・八幡)、北九州市地域人権運動協議会。日本共産党の藤沢市議、高瀬県議も参加。市当局は、市民文化スポーツ局市民総務部総務区政課の課長・係長が対応しました。

その後、1時間ほど、私たちの切実な中止要請を訴えました。



北橋市長宛の申し入れ書を手渡す、三輪氏事務局長

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel. 093-592-5000 FAX 093-571-4346
http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail: koe@siminnokai.com



第43回福岡県人権問題研究集会 地域人権運動の大切さを確認

第43回福岡県人権問題研究集会が、11月23日(火：勤労感謝の日)、開催されました。コロナ感染対策のため、昨年のように人数を制限しての集会となりましたが、県下から会場いっぱいの参加となりました。記念講演は、佐藤直樹さんをお迎えし、「世間という同調圧力と私たちの人権」について語っていただきました。私たち一人ひとりにとって、人権とは何かを見つめなおす良い機会となりました。



午後からは、社会問題分科会で映画『大コメ騒動～女性(おかか)たちのたたかい～』、人権問題分科会で学習『差別発言・差別落書きにどう対処するのか』(講師：奥山峰夫氏)がそれぞれおこなわれ、共に学び合い、地域人権運動の大切さを確認し合う一日となりました。

八幡市民会館の活用を求める連絡会(第64回) 4月の報告集会でパンフレットお披露目

11月19日(金)、上記連絡会が開催されました。参加者は9名。前回(10月8日)からの経過報告と当面する課題について確認した後、本日のメインテーマであるパンフレット作成について検討。パンフレットは20ページで、目次と執筆担当者を決定しました。パンフレット完成後、市民報告集会を4月までに開催します。

次回連絡会は12月10日(金)13:30～15:30、大谷市民センターで開催します。

北九社保協通信

報告・資料集 2021年11月号
11月20日 事務局発行

コロナ感染小康状態も困窮は続く！

「生保110番」に8件の相談。



電話の声を聴ける相談員の皆さん

11月16日(火)に2ヶ月に1度の定例開催である「生活保護110番」を実施しました。この日もマスクによる当日取材はなかったものの、地域に配布しているチラシや今回は新聞の事前告知を見ての相談がありました。やはり地道な宣伝活動の重要性を感じます。民医連関係や加盟民主団体に地域ピラ配布の協力をお願いしていますがそれ以外の地域に、社保協として独自にピラを配布しています。毎回、地域を変え今まで配布していな

い所に集中的に案内を行っています。その甲斐もあってか、今回は新たな地域からの相談が多数、寄せられました。特徴的な相談を紹介すると「59歳。男性。2年前より失業中。職を探しているがなかなか見つからない。貯金を取り崩して生活してきたが、それも底をついてきた。社保協の貸付を申し込んでいるが不承認の時に心配。できれば生活保護は受けたくない。」との相談には「仕事が見つかるまでの一時保護受給も可能」と保護制度について丁寧に説明すると「わかりました。ダメだった時は、役所に保護申請に行きます」と理解を示されました。相談活動を続けていると、生活保護に対する誤った認識や忌避感が根強いことを実感します。制度や社会資源の正しい知識を知らせて行くことも、私たちの使命であると思います。現在、感染状況は小康状態で経済も少しずつ回復の兆しが見えますが、一方で貧困で喘ぎ苦しんでいる方々がいる事も忘れてはなりません。

「いのちまもる 緊急行動 in 北九州」に参加。

いのちと暮らしを守る社会保障の充実を訴える！

全国一斉蜂起後、ここ北九州で健和会労組、地区労働、北九社保協が呼びかけ団体となり「いのちをまもる緊急行動 北九州実行委員会」を立ち上げ、11月14日(日)11時から宣伝行動を実施しました。当日は9団体から40名が参加しました。リレートークで社保協からは、この間におけるコロナ禍での相談会の取り組みやそこでの困難に苦しむ相談事例を紹介。脆弱性があらためて明らかになった社会保障の立て直しこそ、いのちと暮らしを守る砦であることを訴えました。参加団体の各分野からも医療・保健体制強化や窓口負担増反対を訴える発言があり、最後に高瀬議長の「いのち優先、暮らしを

守る政治への転換をめざしましょう！」との力強いアピールで行動を終えました。さらに幅広い運動をすすめるべく11月25日には結成総会が予定されています。



リレートークで発言する北九社保協の岡本事務局長

今後の相談会予定

コロナ電話相談会 (無料)

日時：12月18日(土) 10時～20時

電話：0120(157)930 (フリーダイヤル)